

# こんにちは 山田耕平 です

2012.10.4 No.90

このニュースへのご感想  
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11  
TEL 090-9973-0941  
ホームページ  
<http://yamadakohei.jp>



## 決算特別委員会 大変な問題発言 「ぞうきんを絞るような作業」福祉サービス後退に言及

### 「絞るポイント」それは「やっぱり福祉分野」

現在、行なわれている決算特別委員会で、大変な問題発言が区長事務局から出されました。

企画課長からの答弁でしたが、今後の田中區政の方向性を見定める上でも大変重要な、そして危険な中身が浮き彫りになり始めています。

党区議団は、前山田区長から田中區長に交代して以降の區政運営について「問題点もあるが、前進面もある」との見方をしてきました。小中学校へのクーラー設置、減税基金条例廃止、特養ホームや認可保育園の増設などを打ち出したことは重要な前進面でした。

しかし、この間のやり取りにおいて、建て前と実際の區政運営の間に「大きな乖離がある」と判断せざるを得ません。

企画課長の問題発言はすみやかに撤回すべきです。

### 住民福祉の向上こそが、基礎自治体の使命!

今回の発言は「福祉施設が多すぎる」とする自民党議員の質疑への答弁として出されました(詳細右下)。



雑巾絞りなど許されません!

### 問題発言の内容と要旨

自民党議員の質問は行革に触れ「やはり、福祉分野についての保育園、児童館、ゆうゆう館などの施設がわが区ではたいへん多いと考えておるんです」と指摘。

“こうした福祉施設の民間委託や民営化とともに、再編成が今後の行革で重要だ”と質問したのに応え、その答弁が行なわれました。

企画課長「これからの行革というのは…かなり乾いた雑巾をしぼるような作業」「今までと同じような方法で、雑巾の全体に一樣に力を入れてですね、しぼってもなかなか水はでてこない」「絞るポイントとか、絞り方というものを工夫していかなければいけない」「どこがそのポイント重点化と申しますれば、やっぱり福祉分野におけるさらなる民営化の推進、それから施設の再編整備ということだろう」以上が発言です。

そもそも、無駄を削り、古い制度や組織を見直すことは当然です。しかし、保育園や児童館、ゆうゆう館などの果たしてきた役割を省みることなく、無駄を削減するとの理由で、施設の再編整備(統廃合)や民間委託を進めることは行政の責任放棄です。

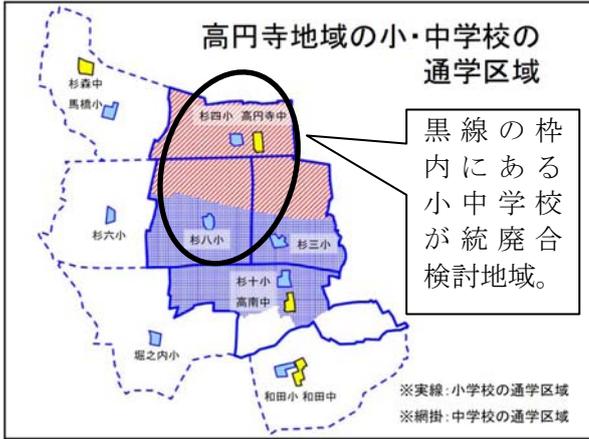
今議会では、「区立施設の再編整備」が大きな議題となりました。これから地域ごとの区立施設が統廃合の危険にさらされる可能性があります。

既に、一部の小中学校では、小中一貫教育の名の下に、学校の統廃合が行なわれることも懸念されています(裏面参照)。

今、全区民的な議論が必要になっていきます。私たちも住民福祉の後退に歯止めをかけるために全力を尽くします!

# 施設再編整備の実態とは？

# 小中一貫教育を名目に学校の統廃合も…



## 高円寺中・杉四小・杉八小 統廃合方針を検討中…

高円寺地域の小中学校で小中一貫教育の実施が検討されています。現在、大きな問題となっているのが「施設一体型」の議論です。施設一体となれば、現状の三校が一校に統廃合されることにもなりかねません。

小中学校は、地域の拠点であり、防災上も重要な施設となります。子どもたちの大切な教育の場でもある学校を守り、残していくことが必要です。

施設再編整備の名の下に「区立施設の統廃合」が行なわれるのであれば、大きな問題です。少子高齢化の社会だからこそ、子育て世代が安心して生活できる社会環境を整備することが基礎自治体の役割ではないでしょうか。

党区議団は、学校存続に向けて、全力で取り組みます。



高円寺地域で活動する議員（鈴木・左 富田・右）を中心に学校統廃合を止めるために党議員団も全力をあげています。

## 育メン日誌

やはり消防団員の子 消防車大好き！

息子が「はたらく自動車」に熱中しています。特に消防車や救急車などの緊急車両が大好きです。

先日、日大二高通り商店街のお祭り「2kodori 祭り」（昨年、プロレス興行をしたイベント。今回はリングを確保出来ずに断念。残念…）に参加しました。

会場には、消防車両も来ており、子どもたちに乗車体験をしていたので、息子も乗せてもらいました。もう、大興奮で降りようとしないので困りました（笑）

今後、消防団員として、消防車などに関わる機会も多いので、ますます熱中していきます。

祭りの後も「ショーボーシャ、ノッター」と一日中、大騒ぎでした。



息子は大はしゃぎ



本物に興味津津です。

## 区議会議員の仕事紹介 その3

# 生活相談への対応

日本共産党の議員ならではの仕事として、住民の生活相談への対応が挙げられます。時には、他党派の議員が対応せずに、私たちに結び付くケースも…。私も「社会福祉士」ということもあり、多い時には、一日平均2件の割合で相談が寄せられます。

寄せられる相談内容は、所得の減少（高齢や雇用悪化に伴う）を理由とした生活苦が増えています。どの案件も非常に深刻です。

私たち日本共産党の党是は「国民の苦難軽減のために力を尽くす」というものです。私たち議員は、多くの住民の声や実態を聞く中で、党の使命を再確認し、議員としても鍛え上げられます。

まさに“欠かすことの出来ない重要な仕事”と言えるのではないのでしょうか。

日本共産党の全ての議員の日常活動です。

写真は小倉前議員と共に、初めて取り組んだ生活相談です。



お困りの方がいましたら、ぜひ、お気軽に声をおかけください！

件数激増 区民の暮らし向きの悪化を反映